

自立活動（言語障害教育）

平成29年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第2次）

自立活動に関する科目（Ⅱ）

（問1～問6 全6問）

時間 9：30～11：10（100分）

（受験上の注意）

- 1 監督者の「始め」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は、表紙を除いて1ページです。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答は、論述式です。
- 4 解答用紙は、問別に9枚あります。はずしたクリップは再度使用するの、なくさないようにしてください。
別に下書き用紙が1枚あります。
全ての用紙に、
 - ①種目欄
受験する種目の口欄に✓を記入してください。
 - ②受験番号欄
受験番号を記入してください。
 - ③氏名欄
氏名を記入してください。
- 5 解答は、問と同じ番号の解答用紙に記入してください。
解答用紙のおもて面に書ききれない場合は、うら面に記入してください。
解答用紙の※欄は採点欄です。何も記入しないでください。
筆記用具は、HBの黒鉛筆を使用してください。
- 6 この試験の解答時間は、「始め」の合図があつてから、100分です。
- 7 当該試験開始から終了までは、退出できません。ただし、用便や発病等やむを得ない場合には挙手をし、監督者の指示に従ってください。
- 8 監督者の「やめ」の合図があつたら、解答を直ちにやめ、解答用紙を上から問1→2→3→4→5→6→下書き用紙の順に並べ、左上をクリップで綴じ、回収されるまで、着席したままで待っていてください。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問1 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の学習支援としての ICT (Information and Communication Technology) の利用について、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(いわゆる「障害者差別解消法」)にも触れながら述べなさい。

問2 自閉症の子供の偏食に対する摂食指導のポイントについて述べなさい。

問3 吃音^{きつおん}のある子供の実態把握をする際には、どのような情報を収集する必要があるか述べなさい。

問4 乳幼児において、コミュニケーション手段としての指さし行動が出現するために必要な発達基盤について説明しなさい。

問5 小・中学校における通級による指導(言語障害)にかかる教育課程の編成について、通級による指導の教育課程上の取扱い及び授業時数の観点から、現行制度(平成29年度現在運用されている制度)に基づき、その要点を説明しなさい。

問6 次の用語のうちから四つ選び、それぞれの意味を説明しなさい。

- (1) 語用論
- (2) WISC-IV
- (3) 鼻咽腔構音
- (4) 発達性協調運動障害
- (5) ソフトブローイング検査
- (6) 特別支援教育コーディネーター